

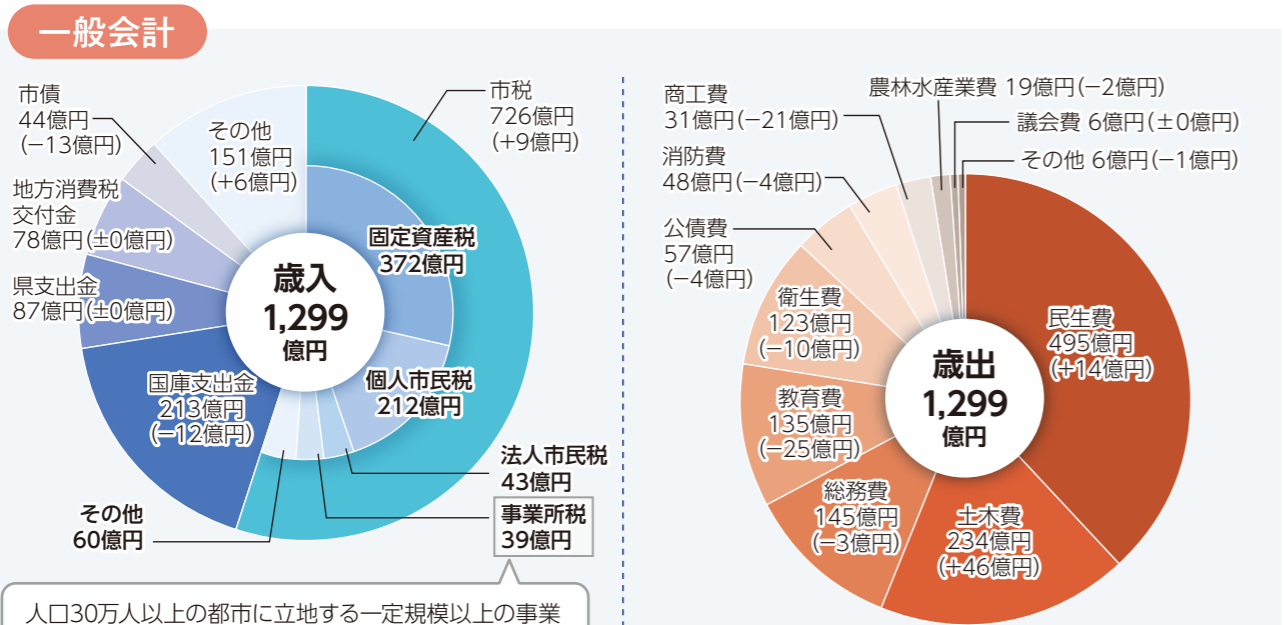
出会い・結婚応援！ 四日市で 幸せになろう予算

令和
5年度

本市では、皆さんに納めていただいた税金を「どんなことに使うのか」について、毎年、計画（予算）を立てています。今回の特集では、今年度の予算のポイントや具体的な使い道（事業）についてお伝えします。（数字は端数調整している部分があります）

一般会計 1,299億円 (前年度比-0.8%) 行政運営の基本的な経費を計上する会計(子育てや教育、防災、福祉、道路整備など)	特別会計など 860億7,580万円 (前年度比+8.3%) 一般会計とは区別して経理する会計(国民健康保険、介護保険、競輪の運営など)	企業会計 690億6,141万円 (前年度比+5.9%) 地方公営企業法に基づく公営企業を経理する会計(上下水道、市立四日市病院)
---	---	--

予算額(総額) 2,850億3,721万円 (前年度比+3.4%)



人口30万人以上の都市に立地する一定規模以上の事業所にかかる税金

主な使い道

- 道路の整備に…… 25億2,093万円
- 学校などの整備に…… 11億2,946万円
- 保育所などの整備に…… 2,944万円

主な増減

- 新型コロナウイルスワクチン接種などに係る国庫支出金の減
- 給食センターの整備が完了したことなどによる市債の減

主な増減

- 中央通り再編事業費の増などによる土木費の増
- 給食センターの整備が完了したことなどによる教育費の減
- 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費の減などによる衛生費の減
- 四日市市プレミアム付デジタル商品券事業の終了による商工費の減

市民一人当たりに使われるお金は？ 約42万円です

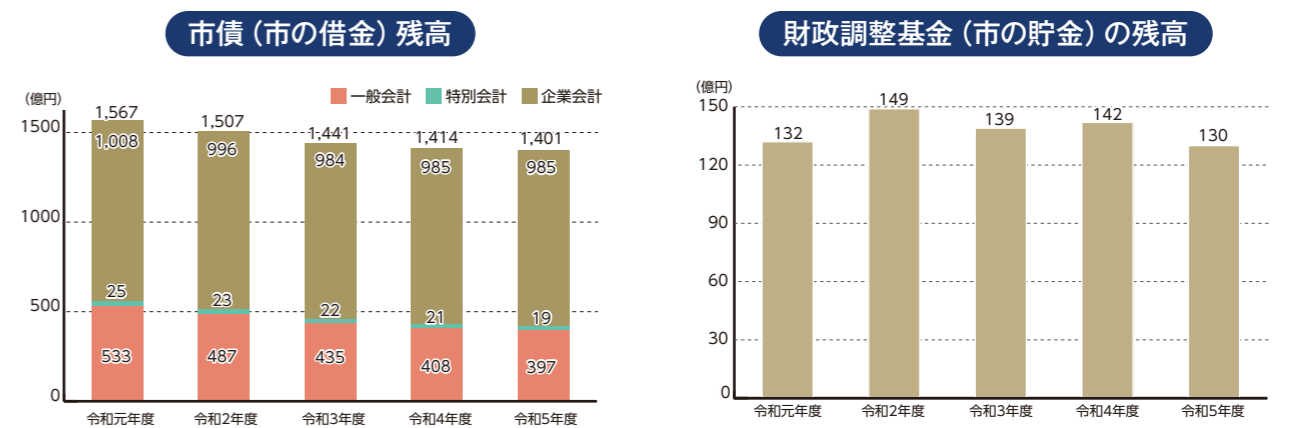
※市に納められた税金約24万円に、国・県の補助金などを加えた金額を財源として、市民1人当たり約42万円の事業が行われます

市民一人当たりの内訳 一般会計歳出予算(目的別) 約420,726円 ※令和5年度歳出予算を人口(令和5年3月31日現在)で割った額	民生費 160,182円 高齢者・障害者の福祉、子どもの医療費助成、保育所の整備、生活保護などに使われます。	土木費 75,812円 道路や河川、公園などの整備や維持管理に使われます。	総務費 46,989円 防災や文化振興、スポーツ振興などに使われます。
教育費 43,882円 小・中学校の学校教育や生涯学習の推進などに使われます。	衛生費 39,992円 健康診断・予防接種などの保健衛生やごみ収集・処理などに使われます。	公債費 18,446円 市の借入金の返済に使われます。	消防費 15,433円 消防・救急活動に使われます。
商工費 9,946円 商工業の振興に使われます。	農林水産業費 6,166円 農業・漁業などの振興に使われます。	議会費 2,070円 市議会の運営・活動に使われます。	その他 1,809円 急な支出を必要とする場合に備えて用意しているお金など。

財政の健全化を進めています

本市では、「財政プラン2020」に基づき、持続可能な財政運営を行ってきました。その結果、市債(市の借金)は着実に減少しています。そして、市税収入の急激な減収や、大規模災害などの不測の事態へ備えるための財政調整基金(市の貯金)も100億円以上を確保しています。

令和5年度からは、「財政プラン2023」に基づき、引き続き健全な財政運営を行っていきます。



豊かで幸せに

暮らせるまちをつくるために

全国的に少子高齢化が急速に進んでおり、国立社会保障・人口問題研究所の将来推計によると、2053年に日本の総人口は1億人を切ると予想されています。

そのような中、交流人口(その地域を訪れる人)や定住人口を巡る都市間競争が、今後ますます激しくなっていくことが予想されます。

本市は、強固な産業基盤、公共交通機関や道路網の充実などの非常に高いポテンシャルを有しています。その可能性を最大限に活かして、さまざまな機会を創出し、着実な成長を遂げていけるまちづくりを推し進めていきます。

1 子育て・教育

やさしく、たくましく、しなやかに生きる力を持った元気な子どもが育つまちへ

NEW 出産・子育て応援
事業費・事務費

予算額 **5億 3,177万円**

妊娠期から出産・子育てまで一貫して相談に応じ、必要な支援につなぐ「伴走型相談支援」と、出産・育児関連用品の購入や子育て支援サービスの利用にかかる負担を軽減するための「経済的支援(計10万円)」を一体的に実施します。



担当：こども保健福祉課

NEW 給食センター
管理運営費

予算額 **6億 2,530万円**

すべての市立中学校に安全・安心な学校給食を提供するため、四日市市学校給食センターの維持管理、運営をします。



担当：学校教育課

2 文化・スポーツ・観光

港町としての歴史と文化・スポーツ・観光の息づくまちへ

市指定文化財「旧四郷村役場」
保存整備活用事業

予算額 **2,853万円**

指定文化財として保存継承するだけでなく、建物を全面的に活用して、貴重な大正時代の建造物の価値や本市の近代産業の発展を発信する資料館としてリニューアルし、より市民に親しまれるよう、記念行事を開催します。



担当：文化課

3 産業・港湾

人とアイデアが融合し、新たな価値が創造されるまちへ

拡充 四日市コンビナート
カーボンニュートラル推進事業

予算額 **7,582万円**

四日市コンビナートが、カーボンニュートラル社会においても本市の産業基盤として永続的に維持・発展していくために、コンビナート企業や国・県・学識経験者などと検討した結果を踏まえて、新たに「四日市コンビナートカーボンニュートラル化推進委員会(仮称)」を設置し、企業間の連携によるプロジェクト創出などの新たな取り組みを推進します。

担当：工業振興課



4 交通・にぎわい

誰もが使いやすい交通手段が整い、次々と新しい人が訪れ、新たな出会いが生まれるまちへ

中央通り再編事業

予算額 **44億 9,055万円**

中心市街地の活性化や交通機能の向上を図る、中心市街地再開発プロジェクトの推進に向け、国が直轄事業として進める「バスタ四日市」と近鉄四日市駅などをつなぐ本市の新しいシンボルとなる円形デッキの整備や国道1号からJR四日市駅にかけての道路再編に着手します。

担当：市街地整備課



5 環境・景観

環境に優しく、良質な景観のある持続可能なまちへ

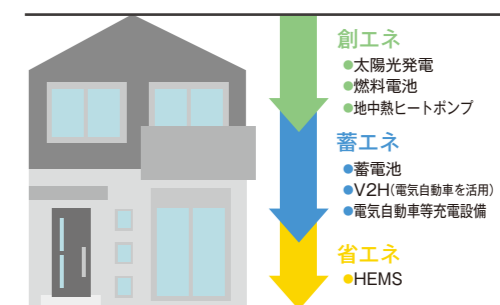
拡充 スマートシティ
構築促進補助金

予算額 **8,065万円**

温室効果ガスの排出を抑制するため、太陽光発電やネット・ゼロ・エネルギー・ハウス(ZEH)*など再生可能エネルギー活用や省エネに効果的な設備を対象とした補助を拡充します。

*エネルギーの自給自足を可能とすることでエネルギー収支をゼロにする住宅

担当：環境政策課



創エネ + 蓄エネ + 省エネ = ZEH *年間1次消費エネルギーゼロ

6 防災・消防

予測不能の災害に対しても対応可能な、しなやかで強いまちへ

拡充 防災教育センター リニューアル事業費

予算額 **2億 1,887万円**

VRなどの最新技術を活用したリアルな災害体験を通じて、市民に対してより効果的な防災教育を展開できるように、北消防署に併設する防災教育センターの改修をします。併せて、出張型防災教育を実施するため、地震体験車を導入します。



担当：消防救急課

7 生活・居住

人と人がつながり、自分らしい生活がおくれるまちへ

NEW 自動通話録音警告機購入費補助金

予算額 **160万円**

特殊詐欺や悪質な電話勧誘など固定電話をきっかけとした高齢者の消費者被害を未然に防ぐため、自動通話録音警告機の購入費を補助します。

担当：市民・消費生活相談室

この通話は
迷惑電話防止のために、
自動録音されます



*イメージ

8 健康・福祉・医療

地域社会で健やかで幸せに暮らせるまちへ

NEW 介護予防等 拠点施設関係事業

予算額 **5,671万円**

令和4年度に整備した介護予防等拠点施設において、フレイル（虚弱）傾向にある高齢者に対する生活機能の維持・向上のための指導や介護予防の啓発などを実施します。また、認知症に関するワンストップ窓口としての相談対応、認知症の初期段階の人に対する支援などをします。



担当：高齢福祉課

都市経営の土台・共通課題

様々な政策・施策を展開していく上で、基本となる都市経営の土台・共通課題

NEW 四日市マリッジサポート事業費

予算額 **1億 4,300万円**

人口の維持・増加を図るため、結婚を希望する独身の人を対象としたセミナーやイベントを実施することで出会いの機会を設け、結婚につながるよう支援します。また、本市での新生活を応援するため、結婚祝い金を支給します。



担当：こども未来課

NEW 東海・北陸B-1グランプリ事業費補助金

予算額 **5,530万円**

まちに元気と活気を呼び込み、地域が一丸となってまちおこしに取り組む「東海・北陸B-1グランプリin四日市」の開催に係る経費の一部を助成することにより、本市の知名度、都市イメージの向上を図るとともに、市民のまちへの誇りや愛着を醸成します。

担当：観光交流課



NEW 電子図書館運営費

予算額 **5,988万円**

時間や場所を問わず読書を楽しむことができる電子図書館を導入・運用することで、来館・非来館に関わらず図書館サービスを提供できる環境を整備します。また、文字の拡大表示や音声読み上げ機能の活用により、視覚障害者など活字での読書が難しい市民への読書環境の充実を図るとともに、GIGAスクール構想*により配布されているタブレット端末から電子図書館の利用を可能とすることで、子どもたちの学校や家庭での読書環境の充実につなげます。

*児童生徒向けの1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化された創造性を育む教育を、全国の学校現場で持続的に実現させる構想

担当：市立図書館



●この特集についてのお問い合わせ・ご意見は 財政課 ☎354-8130 FAX359-0275